和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第１９号

2020年1月28日

2019年度◆SGH海外研修◆
インドネシア研修 その2

2019年10月14日 ～ 19日

テーマ「地域防災」

主な研修内容

10/14　出国
10/15　JICA 研修（日本の支援）
　　ERIA 研修（ｱｼﾞｱ経済）
10/16　世界遺産の被災と復興研修
10/17　マダニア高校との協働学修
10/18　市内研修（ｲﾝﾄﾞﾈｼｱの歴史）
10/19　帰国

研修を通して学んだこと
１年３組　浜本　乃愛

JICAでの講義が非常に印象的でした。災害が発生すると、日本では次の災害に備えようと取り組んだり、前回より被害を減らしていこうと意識が高まったりしますが、インドネシアでは「人間の力ではどうすることもできないので仕方がない」と考えるようです。インドネシアでは防災対策よりも国の発展を優先するということを知り、その意識に問題があると私は感じました。インドネシアのような新興工業国では少しでも防災意識を向上させていく必要があり、そのことを防災対策が進んでいる日本の私たちが伝えていくべきだと考えます。

また、私はこのJICA・ERIA研修で、目標であった「質問をする」を達成することができました。今までの自分にはなかった積極性を引き出すことができ、インドネシアの防災、JICAの取組、ERIAの取組について、より関心・意欲を持つ結果となりました。今後の課題にも積極的に取り組める自信を持てるようになりました。

私が設定する現在の課題は、インドネシアのような、国の発展を望む国に対して、防災の意識を高めていく方法を考え、提案することです。私の想像以上にインドネシアでは災害が多く、人々にとって日常茶飯事と化しているために、災害で被害が生じる状況が当たり前になっているのだと感じました。「被害」を当たり前だと考えさせないように、自分に何ができるかを見つめ、実践していきたいです。インドネシアの歴史・文化を学んだことで、視野をより広げることができました。これからの日本で必要になると言われる異文化理解を、今後、より深めていきたいと思います。